



2025年2月2日(日) 午後2~4時

Coconeri 3階 ココネリホール(中央)

# 「戦後80年と第五福龍丸」

戦争から今日まで、船と船に関わる人間たちの数奇な航海

講師 川井龍介

## 【講演内容】

1954年3月1日に太平洋ビキニ環礁で、アメリカの水爆実験により被ばくした遠洋マグロ漁船、第5福龍丸。

1947年、和歌山県・紀伊半島南端、古座川の河口で浸水したこの船が誕生した経緯から、その後の数奇な航海ともいえる歴史を追うと、戦争と人間、核と人間の関りが見えてくる。

船の歴史と船に関わった乗組員や関係者の歴史を『数奇な航海 私は第五福龍丸』の著者、川井龍介氏が紹介する。



【参加費】1人1000円 2人以上1人800円 高校生以下無料

【会場】 Coconeri 練馬駅 隣接

【川井 龍介プロフィール】 ジャーナリスト、ノンフィクションライター。1956年神奈川県生まれ。慶應大学卒業後、毎日新聞記者などを経て独立。『122対0の青春』『十九の春』を探して〜うたに刻まれたもう一つの戦後史』(講談社)、『大和コロニー フロリダに「日本」を残した男たち』、『切ない歌がききたい』(旬報社)などの著書のほか、日系アメリカ人文学の金字塔『ノーノーボーイ』(ジョン・オカダ著)を翻訳、旬報社より出版。コロナ禍の中「日本の海岸線」をテーマにサーフボードを積んだ車で旅をする。昨年『別れのサンバ 長谷川きよし 歌と人生』(旬報社)を監修。第五福龍丸に関しては、1984年の被ばく30周年に、全乗組員の追跡取材などを行い、『水爆実験との遭遇』(斗ヶ沢秀俊との共著、三一書房)を出版。2022年に第五福龍丸の歴史に焦点をあてた『数奇な航海 私は第五福龍丸』(旬報社)を出版。

## <ぶんかサイエンスカフェ事務局>

【お申し込み/お問い合わせ】 メールまたはホームページよりどうぞ! 当日の直接御来場でもOK!

メール: office@cscafe.net ホームページ: cscafe.net

ぶんかサイエンスカフェ



事務局代表: 伊藤 規志子 (電話: 090-1771-0901)